

今月の一笑 ダジャレ川柳
我が家ではトーサンを又パピにする
(千葉市/石井志津夫)
ジャンセンは最後で勝って「あたい、千、金」
(小平市/奥村篤史)

~~~~~  
今月の一笑は力作を作り続けるお二人のダジャレ川柳の作品から選びました。  
一笑なのに二つもあるのはどうして?  
答は「今月の一緒」というこれまたダジャレかも知れません。



さて、今年7月に同楽会ジョークサロンは開設されてから5周年を迎えることとなります。初代幹事鳥の山下廣藏氏が1989年12月に亡くなった後、一時的に存亡の危機を迎えましたが新たに例会に参加して頂くようになった会員の方々の切磋琢磨及び自己研鑽の成果もあって第2次興隆期を迎えているような状況です。

郵送会員の数も増減を繰り返しつつも130人程度で安定的に推移しており、時おり寄せて頂くお便りから励ましの言葉を頂くのはとても有り難いことだと思っています。

ところで、今月のお便りの中にこんな便りがありました。

取手市/塩塚賢輔

伝笑鳩をお送り頂いてからもう3年目に入ります。

これから又一年間お願い致します。私など本当にSilent Readerですが、結構、きこえない所で声を出しております。引き続きよろしくお願い致します。なお、最近の伝笑鳩は作品より読者の便りが先に載せられているようですが、やはり、作品のオンパレードが本当の姿かと思えます。投稿もしないで、こんなことを言うのは失礼ですが、チョット気になっております。いかがなものでしょうか。ともあれ会員の皆様のご健康を祈ります。

ジョークサロンは例会に参加し作品を持ち寄っては語り笑い合うという会員と会報である伝笑鳩の読者という会員がいますが、例会に参加する会員の見解としまして

- (1)できる限り読者の声は載せるのが望ましいのではないか。
- (2)例会参加者の作品については発表時に笑いの大きなものから適宜取捨選択する。
- (3)双方向の声が伝わる会報が伝笑鳩の初期の狙いでもある。

ということで現在のスタイルに落ち着いています。



読者のお便りの中にも、どんどんジョークが溢れてきていますので、それも又作品である、と考えると頂けたらと思いますが、如何なものでしょうか?

例会に参加する会員のカンパで印刷の費用を捻出していますので、例会者の作品ばかりでも構わないと思いますが、敢えて現在のスタイルを暫く踏襲したいと考えています。

変集鳥の希望としましては、今月の作品を読んだ感想とか、時々使っています、と言った様な事例が送られてくれば、より一層作品を作る仲間の励みになるのでは、と考えています。厳しい意見もある場合には、それも教えて下さい。反省もしつつ前進します。

大和市／阿部久二郎

近頃はおにぎりもオカカだのシャケだのいろんなものをいれるようになったけれども、おにぎりにはなんといっても、梅干しが一番日本人の嗜好にぴったりです。海外旅行でとんだ珍事が——「パリのオルリー空港で日本人旅行客の一人が携行していたおにぎりか検査官にチェックされた。のりが巻いてある真っ黒なそれを、ハイジャックに神経を尖らせている検査官は、もしや新型の爆弾では?と疑ったらしい。柔らかいところが尚更怪しいと、分析することになった。半分に割ると、中から異様なものが出てきた。それも柔らかいが、更にその中を調べると、硬いものが、ついに出てきたので『そら、出たッ』と大騒ぎ」——とは昭和53年の東京新聞の伝えしエピソードなり。

札幌市／石垣喜芳

永年田舎勤務で、完全に地方(痴呆)症になりました。



荒川区／奥田博

No52 前田誠様「平成の世相点描」集中的に気に入りました。久々の大ホームランって感じ。…聞かぬは一生の意地! …ジョークに交じって飛び交う本音! とにかくうまいもんです。こういう鋭いコピーを発する人ってきっと普段はニコニコ舌なめずりして何気なく暮らしているんだろうな、などと勝手な想像をしています。今後もキツイヤツを期待しています。〔イツ ストリート! その通り〕

京都市／広川友雄

★「今度は楷書をやめて草書にしようか」「ソウショ、ソウショ」  
★「4月の預金者獲得ではサクラ銀行が頑張るらしい」「サクラは楽さ」

京都市／牟禮丈夫

朝日新聞(2月19日付夕刊)の「かいしゃ川柳」に愚作採用——  
●肩書をとれば人格見えてくる

千葉市／近藤創吾

毎月飛来する「伝笑鳩」にジョークの醍醐味を満喫させて頂き、脳細胞の活性に役立たせて頂いてまいりました。では川柳でも  
○オリンピック知らない国旗多くなり ○先生が親に手を焼く進学期

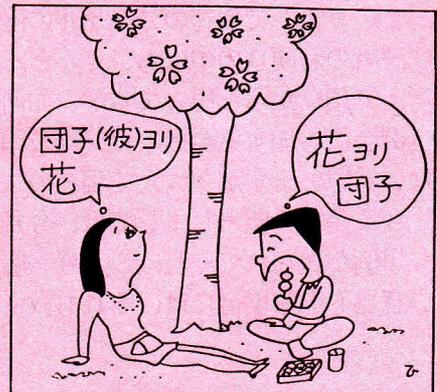
羽島市／安東輝昭

年が明けますと①官庁への実績報告②確定申告③指名願の提出等が通常の業務に加わり毎年イヤになります。のんびりと伝笑鳩でも読む生活という——ゆったりとした生活をしたいです。いつもこの時期思うのですが、①とか②を実行すると、報酬を貰えるとか、税務署も考えてくれないでしょうか?! 自営業の人にはこの気持ち、よく分かって貰えるでしょう・・・ネ! 1年間、又よろしくお願ひします。〔やはり自衛するしかないのでしょう・・・カネ!〕

横浜市／天野秀雄

ほのぼのコミック

〔天野さんからいつもマンガ・イラスト・カンパが届きます。人柄が窺えるタッチです・・・ネ〕



## 文句特集

1. 政治改革出来なきゃ文句 出来りゃ中味でまた文句
2. 腐敗疑員に辞めろと文句 選挙で当選また文句
3. 国民福祉の税には文句 酷民伏死とまた文句
4. 夜間発着うるさきゃ文句 便が無くなりゃまた文句
5. 裁判ながけりゃ遅いと文句 早きゃ敗訴でまた文句
6. 排ガス臭いと市民が文句 バスを減らせばまた文句
7. 配置転換嫌だと文句 リストラするぞとまた文句
8. コメの不作や輸入に文句 タイ米臭いとまた文句
9. 生活大国嘘だと文句 我慢耐国だと文句
10. ノーと言ったら相手が文句 イエスで帰ればまた文句
11. 頭が悪いと子供に文句 親が悪いと子が文句
12. サービス悪いとお店に文句 セルフサービスだと文句
13. 死に体だろうと勝負に文句 勇み足だとまた文句
14. 暗きゃ用心悪いと文句 点けりゃ明るさままた文句
15. 効かぬ薬に患者が文句 毒の薬にまた文句
16. 校則キツイと生徒が文句 ゆるきゃ親からまた文句
17. 煙草止めてと周囲が文句 煙草屋売れぬとまた文句
18. 犬がワンワンうるさきゃ文句 役に立たなきゃまた文句
19. 義理チョコカクせる不況に文句 本命いないとまた文句
20. 悪魔と付けたら役所が文句 あくまで悪魔とまた文句  
     悪魔命名論争は一応決着したが・・・ならばと追加  
     悪魔がダメでもあくまでねばり 色魔通り魔邪魔オカマ



〔怒る高木正明氏は高き理想に燃え、正しく明るい世界の構築を担うものである。という訳かどうかは別として、例会参加の一同、最後に「出来ばえに文句なし」でした〕

### 曾田英夫

狂歌NEW門



- ◆冬の朝 ◎冬の朝 今日も会社と 思えども 抜けでられない 布団のぬくみ
- ◎始発駅 ホームに電車が 入り来て ドアが開くと 椅子取りゲーム
- ◆節分 ◎酒を飲み 上機嫌で ドア開く 豆が飛び来て 赤鬼にされ
- ◆雪 ◎雪積もり こどもは外で 雪合戦 わたしゃ炬燵で 雪見酒飲む
- ◎雪積もり こどもが作る 雪だるま 炭たどん無く 目鼻が立たず

### 野本浩一

えっ、  
あっ、  
そう

出張で化粧品工場の見学に赴いた。化粧品のサンプル等を見て、工場のラインを見る。案内の女性が「このタイプは乾燥肌の女性向けの品です」と言うと同行の女性が「私も使っているんです」と言った。私が「使った感想はどう？」と聞くと、答える前に笑ってしまった。

# 如是我聞

復刊 第3号 (平成6年2月23日)

東風川 南朝 作

復刊なった『如是我聞』は失業したお父さんが主人公という設定で日本の年中行事をテーマで再出発しております。作者は同じ神山徹さんですが、神山南朝改め東風川南朝となった様です。戻ってきた南朝さんに乾杯！

●豆まき

「お父さん、鬼って恐いの？」



「超恐いぞ」

「だけど、こんなちっちゃな豆で逃げてゆくんだよね」

「.....」

●豆まき

「お父さん、毎年、福は内って大きな声出すけど、・・・福って来ないね」

「.....」

「お父さん失業しちゃったしね・・・今時、豆じゃ来ないんじゃないの」

父、しばらく考えて、「そうだ！来年はお多福豆でやってみよう」

●立春

「お父さん、春でもないのにどうして立春って言うの？」

「それは昔の暦なの」

「だって、今の暦に書いてあるよ」

「.....」

●バレンタインデー

「お父さん、チョコレート貰った？」

「あれはね、会社にいる時だけ貰えるものなの」



## 名句換笑

春之部

其老

印南博之

|                   |    |
|-------------------|----|
| (元) 青天に音を消したる雪崩かな | 紀陽 |
| 青天に億を消したる種子島      |    |
| (元) 山寺に春や仏に水仙花    | 也有 |
| 山寺の和尚仏にLD経        |    |
| (元) 梅一輪いちりんほどの暖かさ | 嵐雪 |
| 昔七輪今エアコンの暖かさ      |    |



花小金井アッシー君作 1. タワゴトロジー・ショート・トーク

\*伊達じゃない伊達です 女だてらに頑張りました。

\*若ノ花婚約：まず母親にあって決めました —— 花田家

\*居ぬ々々々：愛犬家連続失踪事件

\*おおっ痛っ！丸損！ —— 折り返し点間違え幻のゴール

\*輸入米、旨い米米(ベマイ)、中位の中米、タイ、タイならず大差でしまい

\*日本無念の金逃がし (替え歌)

♪銀だ銀だ銀だ 銀だ銀だ銀だ あこかれは銀だ (たそかれの銀座で)

♪銀銀銀だ銀だ 優勝は金だ 銀銀銀だ銀だ 気がひける (ギンギンギラギラで)



花小金井アッシー君作 2. ダジャレ川柳

\*日本籍取り親方日の丸に」小錦

\*不況めがけ減税球を投げセイフ

\*怪盗のムクない早業に「叫び」なし





「新聞の詫状・訂正記事」という本を書いた整理記者がいる。そして記事を書く心得とは「確認、確認また確認」という。それでも間違いは起こる。ワープロ時代になって、一体、その責任はだれがとるのだろうか。かくしてミスは続くよ、どこまでも…。

- 1：雨天結構…いやあ、今日はいいお湿りですな。(決行)
- 2：思い出を疲労…そんなに疲れることをやったのか。どんないい思い出かな？(披露)
- 3：確定深刻…所得税減税もたいした事はなく、この時期まさに地獄ですな。(申告)
- 4：カミソリの歯…なんだ、顔じゅう血だらけで。うん、カミソリが噛みました。(刃)
- 5：九十の選択…年を取ると反応が鈍くなって、決まるものもなかなか決まらなくなるんだらうか、ああ、じれったい。(苦渋)
- 6：交通事故の定価…人命の値段が高くなって、交通事故を起こそうものなら、どえらい金額だ。やはり事故は減らさないとね。(低下)
- 7：高齢地…高山に住む仙人でもあるまいが、山間過疎地は高齢化が進んでいるのは確かである。(高冷地)
- 8：人権費…差別とかセクハラに対する世論が高まってきたせいかな、うっかり相手の人権を侵害すると、名誉毀損で大変なことになる。(人件費)
- 9：泊まって治す…止まって治すのが「プリザS」、それでもだめなら入院して切るしかないのである。
- 10：履き違える…「一言申し上げるが、大体あなたは人の靴を何と考えておるのか」「そんな大袈裟に言う事ですかね。こんなボロ靴」(吐き違い)
- 11：ハシゴ者…火事の現場に野次馬は付き物。それにしても酔っ払いが無責任に「もっと燃やせ、もっと燃やせ！」(ハシゴ車)
- 12：無情の喜び…他人が苦しんでいるのを、ひそかに喜ぶ快感を言う。(無上)
- 13：文明の力…世の中便利になると、まるですべて自分の力でやり遂げたような錯覚に陥るの(利器)
- 14：放置新聞…「新聞を片付けなさい」「そのままでいいの」。(報知さん、失礼)

[感心しました、と打とうとしたら関心や寒心も出てきました。つい間違えるかも]



ジョークサロン '94.2.23 “メッセ貝” こと石井志津夫

- ☆ウグイス発声訓練
- |     |            |
|-----|------------|
| 親ドリ | 「ホー、ホケキョ」  |
| 子ドリ | 「フー、フケイキョ」 |
- (家庭、職場、研修、このご時勢、教えることの難しさ…)
- ☆歌合戦組合せ今昔
- |   |                  |
|---|------------------|
| 昔 | うさぎさんチームとくまさんチーム |
| 今 | リスさんチームとトラさんチーム  |
- (今、両チームとも、歌っていても、落ち着きませんネ)
- ☆ロケット打ち上げ成功
- |           |        |
|-----------|--------|
| 置き去りにされた。 | —— 不景気 |
|-----------|--------|



先月例会出席者 ————— 2月23日実施

石井志津夫・印南博之・大熊多喜雄・小川義忠・奥村篤史・神山徹・曾田英夫・高木正明・野本浩一・前田誠・牧ノ内敏朗 \*下線の方は初参加です。

- # 1. 小川さんは石井さんが参加する別会合から話を聞きつけての参加です。
- # 2. 牧ノ内さんは例会は初参加。封筒に詰める作業も初めてでした。

**小川義忠** 『ジョークサロンに初めて参加して』 '94. 3. 11

幕張の“メッセ貝”こと石井志津夫さんの紹介で、ジョークサロンの2月例会に初めて参加いたしました。

ジョーク作りの名人・迷人からそれぞれの迷作の笑介があり、ケタケタ大笑いの連続でした。こんなサロンは私にとっては生まれて初めての経験でした。

真面目人間の化石?のような私にとっては、大きなカルチャーショックでした。そして、笑うことがこちよいい刺激の連続となり、よくもまあ、あんなに笑えるもて出来るものだと感心しました。

日常生活において、ちょっとしたいいことをピックアップするとともに、ちょっとした笑いをピックアップしてみたいと思います。「一隅を笑わせる、これ国宝なり」の心境で、バカになり笑いを楽しみたいと思います。(荻窪のダボハゼこと小川義忠)

[小川さんは現在単身赴任中とのことでしたが、精力的に仕事をする傍ら友人、知人にあてて2週間に1回のペースで個人的メッセージペーパーを発行しているそうです。名前が『きょうひん情報』というペーパーですが、例会で配られた時に「真面目なテーマばかりなのに、何故ひょうきん情報と言うのですか?」と聞きました。答「ひょうきんではなくきょうひんです!」「きょうひん?」「強頻と書き、強く、頻度を上げる(数多く繰り返す)ことです」とのこと。ジョークサロンに参加するのだから、ひょうきんな面もあるだろうという固定観念から、そう思い込んだ訳でして、変集鳥以下参加者は反省するばかり・・・]

NEWS  
北東西南



- 1. 4月例会 3月27日(水)内神田社会教育館7F小集会室  
18時30分頃から
- 2. 封筒の宛名の部分に(〜'94/7)とあるのは皆さんから送付して頂いている切手が有効な年月を示しています。参考にして下さい。
- 3. お便り&切手の送付先 〒158 世田谷区深沢7-5-13-305 野本宛  
切手は一年分80円×15枚です。

伝笑鳩No.5 4

発行 1994. 3. 23  
 変集鳥 野本浩一  
 変集協力 曾田英夫/石井志津夫  
 奥村篤史/高木正明  
 印南博之/神山徹  
 発行所 同巢会ジョークサロン



切手・カンパ受領一覧 1994. 2. 16 ~1994. 3. 12

大和市/阿部久二郎、富山市/石黒徹  
 札幌市/石垣喜芳、青森県/沼宮内春雄、群馬県/藤永隆  
 千葉市/近藤森利、大館市/伊多波英夫、横浜/天野秀雄  
 岐阜県/安東輝昭、高石市/芝原健夫、広島県/今田景通  
 京都市/広川友雄、牟禮丈夫、国立市/金丸永子  
 取手市/塩塚賢輔、春日部市/石井助次郎